



ホスト型エッジサービス

表 1: 機能の履歴

機能名	リリース情報	説明
ホスト型エッジサービス	Cisco Catalyst SD-WAN Manager リリース 20.18.1	ホスト型エッジサービス (IOx アプリケーション) の正常性、関連するデバイス、バージョン、および IOx の状態を Cisco Catalyst SD-WAN Manager インターフェイスを使用してモニターできます。ホスト型エッジサービスを開始または停止することもできます。

- [ホスト型エッジサービス \(1 ページ\)](#)
- [ホスト型エッジサービスのモニタリングに関する制限事項 \(2 ページ\)](#)
- [ホスト型エッジサービスの開始または停止 \(2 ページ\)](#)
- [ホスト型エッジサービスのモニタリング \(3 ページ\)](#)

ホスト型エッジサービス

ホスト型エッジサービスは、WAN エッジデバイスにインストールされる Cisco IOx アプリケーションであり、コア Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN ソフトウェアを超えて機能を向上させます。Cisco IOx アプリケーションには、シスコアプリケーションとサードパーティアプリケーションの両方を含めることができます。Cisco SD-WAN Manager を使用すると、次を実行できます。

- リソース使用状況、デバイスの詳細、バージョンなどについて、エッジデバイスにインストールされているすべてのホスト型エッジサービスをモニターし、
- デバイスにインストールされているホスト型エッジサービスを管理します。

ホスト型エッジサービスのモニタリングに関する制限事項

ディスク容量の計算

デバイス上で複数のホスト型エッジサービスが Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN リリース 17.18.x より前のバージョンを使用して実行されている場合、一部のホスト型エッジサービスのディスク容量使用率が正しく反映されない可能性があります。ディスク容量使用率が適切に計算されるように、Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN リリース 17.18.x の最新バージョンにアップグレードしてください。

マルチテナント機能

マルチテナント環境では、ホスト型エッジサービスはテナントレベルでのみモニターでき、プロバイダーレベルではモニターできません。

ホスト型エッジサービスの開始または停止

SD-WAN Manager の手順を使用して、デバイスにインストールされているエッジサービスの動作を制御します。

始める前に

- ネットワーク内の1つ以上のデバイスにホステッドエッジサービスを展開し、アクティブ化します。[Cisco Catalyst SD-WAN 統合 ガイド](#) の設定手順を参照してください。

手順

ステップ 1 Cisco SD-WAN Manager のメニューから **[Monitor] > [Hosted Edge Services]** の順に選択します。

ステップ 2 ホステッドエッジサービスを選択します。

このページには、選択したホステッドエッジサービスを実行しているデバイスが表示されます。

または、**[Devices]** ページからホステッドエッジサービスを管理するには、次の手順を使用します。

- a) Cisco SD-WAN Manager のメニューから **[Monitor] > [Devices]** を選択します。
- b) リストからデバイスを選択します。
- c) **[App Status Info]** をクリックして、デバイスに関連付けられているホスト型エッジサービスを表示します。

ステップ 3 ホステッドエッジサービスを開始または停止するには、デバイスの横にある **[...]** をクリックし、**[Start edge service]** または **[Stop edge service]** を選択します。

(注)

ホステッドエッジサービスは、**[Running]** 状態の場合にのみ停止できます。同様に、**[Stopped]** 状態のホステッドエッジサービスを開始できます。ホステッドエッジサービスが **[Deployed]** または **[Activated]** 状態の場合、操作を実行できません。

デバイスメトリックが更新されると、**[Edge service state]** 列にエッジサービスの現在の状態が表示されません。

ホスト型エッジサービスのモニタリング

ホスト型エッジサービスを実行しているデバイス、そのリソース使用状況、個々のデバイス上のホスト型エッジサービスのステータスなどをモニターします。

手順

ステップ 1 Cisco SD-WAN Manager のメニューから **[Monitor]** > **[Hosted Edge Services]** の順に選択します。

ホスト型エッジサービスビューには、次のものが含まれます。

表 2: ホスト型エッジサービス

フィールド	説明
Hosted edge service name	追加機能を提供するためにエッジデバイスにインストールされたホステッドエッジサービスの名前。
Edge service author	このエッジサービスを開発した組織の名前。
Number of sites installed	ホステッドエッジサービスが現在インストールされているサイトの合計数。
Number of devices installed	ホステッドエッジサービスがインストールされているエッジデバイスの合計数。

ステップ 2 特定のデバイス上のホスト型エッジサービスをモニターするには、次の手順を使用します。

a) **[Hosted Edge Services]** ページから、ホスト型エッジサービス名を選択します。

このページには、選択したホステッドエッジサービスを実行しているデバイスが表示されます。

表 3: IOx 状態とデバイスの詳細

フィールド	説明
<p>IOx states</p>	<p>IOx 状態は、サービスが動作しているかどうかを示すホステッドエッジサービスの状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Stopped : ホステッドエッジサービスが停止し、デバイスで動作していないことを示します。 • Running : ホステッドエッジサービスがデバイスでアクセス可能であり、動作していることを示します。 • Deployed : ホステッドエッジサービスがデバイスに展開され、インストールが成功したことを示します。 • Activated : ネットワーク設定がホスト型エッジサービスに正常に追加され、アプリケーションがアクティブになったことを示します。 <p>ホステッドエッジサービスの状態に従って、任意の状態をクリックして、ネットワークデバイスをフィルタ処理します。</p>
<p>Network device</p>	<p>選択したホステッドエッジサービスのインスタンスが実行されているネットワークデバイスの名前。</p>
<p>サイト名 (Site name)</p>	<p>Cisco SD-WAN 環境内のネットワークデバイスの運用グループ化を表す論理識別子。</p>
<p>Resource usage health</p>	<p>ホスト型エッジサービスによって消費されたリソース。</p> <p>ホステッドエッジサービスの場合、正常性ステータスは次の値を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Good : ホステッドエッジサービスの CPU、メモリ、ディスク容量のリソース使用状況が、割り当てられたリソースの 50% 未満である。 • Fair : ホステッドエッジサービスの CPU、メモリ、ディスク容量のリソース使用状況が、割り当てられたリソースの 50% ~ 75% の間である。 • Poor : ホステッドエッジサービスの CPU、メモリ、ディスク容量のリソース使用状況が、割り当てられたリソースの 75% を超えている。 <p>これには、サービスによるリソース使用状況のみが反映されます。デバイスの合計リソース使用量は反映されていません。</p>
<p>Edge service state</p>	<p>ホステッドエッジサービスの IOx 状態 (停止、実行中、展開、またはアクティブ化) を表示します。</p>

フィールド	説明
Edge service version	package.yaml ファイルで定義されているデバイス上で実行されている IOx アプリケーションのバージョン。
Last update	デバイスメトリックが更新されたときに、最新のタイムスタンプを表示します。

- b) 選択したネットワークデバイスについて、[...] をクリックし、[View edge service info] を選択します。ドロワーには次の情報が表示されます。
- **Resource usage** : 現在の正常性ステータスと、CPU、RAM、およびディスク容量のリソース消費。
 - **Edge service details** : 現在のIOx状態、ホストされているエッジサービスのバージョン、および最後のデータ取得の詳細。[Stop edge service] オプションを使用して、デバイス上でホステッドエッジサービス インスタンスを停止します。[Refresh device metrics] をクリックして、選択したデバイスのデバイスメトリックを手動で更新します。
 - **Package information** : ホステッドエッジサービス名、CPU アーキテクチャ、および作成者情報。

ステップ 3 特定のデバイス上のホスト型エッジサービスを [Devices] ページからモニターするには、次の手順を使用します。

- Cisco SD-WAN Manager のメニューから [Monitor] > [Devices] を選択します。
- リストからデバイスを選択します。
- [App Status Info] をクリックします。

このページには、デバイスで実行されているホスト型エッジサービスが表示されます。

フィールド	説明
Edge service name	デバイスでホストされている IOx アプリケーションの名前。
Edge service author	エッジサービスを開発した組織の名前。
Edge service version	package.yaml ファイルで定義されているデバイスで実行されている IOx アプリケーションのバージョン。

フィールド	説明
Resource usage health	<p>ホスト型エッジサービスによって消費されたリソース。</p> <p>ホステッドエッジサービスの場合、正常性ステータスは次の値を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Good : ホステッドエッジサービスの CPU、メモリ、ディスク容量のリソース使用状況が、割り当てられたリソースの 50% 未満である。 • Fair : ホステッドエッジサービスの CPU、メモリ、ディスク容量のリソース使用状況が、割り当てられたリソースの 50% ~ 75% の間である。 • Poor : ホステッドエッジサービスの CPU、メモリ、ディスク容量のリソース使用状況が、割り当てられたリソースの 75% を超えている。 <p>これには、サービスによるリソース使用状況のみが反映されます。デバイスの合計リソース使用量は反映されていません。</p> <p>また、エッジサービスをホストしているすべてのデバイスの [Devices] ページで [Edge service resource usage health] 列を使用して正常性を表示することもできます。</p>
Edge service state	ホステッドエッジサービスの IOx 状態（停止、実行中、展開、またはアクティブ化）を表示します。
CPU 使用率	CPU リソース使用率をパーセンテージで表示します。
ディスク領域使用率	ディスク容量をパーセンテージで表示します。
メモリ使用量	メモリ使用率をパーセンテージで表示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。